

世田谷・九条の会

世田谷・九条の会
ニュース No.45

2017年5月11日発行
(題字 西山簡石)

●事務局 〒154-0017 世田谷区世田谷 1-11-16 世田谷民商気付
Tel:03-6413-9547 Fax:03-6413-9548 Mail: setagaya-9jou@kzh.biglobe.ne.jp
●ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~setgagaya-9jou>
●郵便振替口座 記番号 00110-5-260741 世田谷・九条の会

主張する若者こそ希望

福島 和夫

「大学に入ってから友だちができないんです。」2年生らしい学生がつぶやくようにしゃべった。「大学の教養課程では、単位がとれば良い、くらいに考えている人たちが多くて、講義の内容でも、読んだ本のことや社会のいろいろなことについて、知ったこと、考えたことを話したいと思っても話が續かないんです。」

この春、久しぶりに新入生を含む若い学生さんたちに話をする機会があった。「大学で何を学ぶか」と題して、昔の教養課程で新鮮な講義に触れ、同期生たちとの交流で強い刺激を受けた経験を話した後、出された発言だった。

少し前に KY (空気が読めない) と言って、真剣な話や討論を敬遠したがる風潮が、若い世代を中心に広がっているという指摘があった。その流れが今もあるのか、と思ったのが一つ。もう一つは、それでもまじめに考えよう、社会のおかしなことはなんとか変えたい、と思っている若者が間違いなくいると感じたこと。

学生時代、大学立法反対の訴えでは、道行く人の半数近くから署名をもらえた。今の学生さんには、社会のことを考え、自治会活動に加わったりすると友人関係が壊れる、何より就職に不利になる、時には脅しにも響く強迫観がある。高い生活費と学費、ささやかな遊興費をまかなうための過酷なアルバイトに追われる学生の姿は、戦争法や共謀罪反対の署名を呼びかける高齢者から、目をそらすように俯いて足早に過ぎる若者の姿とだぶる。未来を担うのは若者、そして今の悪政の弊害をもっとも強く受けるのも若者。彼らがそれぞれの考えを自由に論じ合い、個人の正当な権利を堂々と主張できるような社会を取り戻すことこそ、私たちに託された役割であり、希望ではないだろうか。(世田谷・九条の会事務局 代田)

世田谷区民集会・パレード (2017年3月19日)

19日行動の一環として、「戦争させない！憲法まもれ！3・19世田谷区民集会」が、朝10時半から世田谷区役所中庭で210人の参加を得て開催されました。集会では保坂展人・世田谷区長、区議や都議が来賓として挨拶しました。保坂区長は、「共謀罪を許してはならない」と訴えました。参加者を代表して、渋谷共同法律事務所、世田谷・九条の会、世田谷1000人委員会、新婦人の会よりスピーチがありました。集会後、東京土建世田谷支部提供の宣伝カーと横断幕を先頭に、羽根木公園までピースパレードしました。参加者の多くは、梅ヶ丘駅から移動し、昼過ぎ開会の国会前の総がかり行動実行委員会の集会に合流しました。



なお主催団体の世田谷連絡会は、区長宛に、区長として共謀罪に反対する意思表明を求める団体と個人署名を寄せることを提起し、3/25までの短時日のうちに40団体と1,700筆を超える署名が寄せられ、区長に手渡されました(4/27の最終集計では、63団体、3,002筆)。

九条の会東京連絡会学習会 (2017年3月22日)

九条の会・東京連絡会の呼びかけで「憲法施行70年 あらためて輝きを増す日本国憲法」と題する学習会が決起集会を兼ねて、豊島区生活産業プラザで開催されました。この会では、昨年秋に九条の会の新たな世話人となられた伊藤千尋氏と池田香代子氏の講演がありました。



伊藤千尋氏(元朝日新聞記者)は、沖縄とコスタリカ・韓国での取材で見聞きしたことをもとに話されました。

【沖縄の旅から】 沖縄では弱いものを強い権力がいじめている。福島から疎開した子どものいじめと同じ

である。宮古島で、行政側が自衛隊誘致に反対するのは一部の住民であるといったことに対し、反対した一人の住民が、数日後に3,500人もの人を集めて、ついに撤回させた。

【コスタリカの旅から】 コスタリカは戦争を憲法で否定して、軍隊を置かないことを決めている。400万人の人口に対し100万人もの難民を受け入れている。コスタリカの国民は憲法を自分のものにしており、日常生活で憲法に違反するのではと疑問を感じた時にはすぐに憲法裁判所へ訴えるようにしている。何と年間2万件もの違憲訴訟が起きている。同じように戦争を放棄している日本とともに、平和を世界に輸出しようではないか。

【韓国の経験】 安倍政権を退陣させるには、韓国で大統領を退陣に追い込んだ運動を見習う必要がある。韓国でデモが発生し、短時日のうちに数百万人にまでふくれあがったのは、歌とスマホの力だった。デモの会場では歌で団結を盛り上げ、ス



マホで知人に今これだけ集まっている、至急集まろう！と呼びかける方法で成功させた。韓国では年配者もスマホを使いこんでいる。とくに自分の周りで態度を決めかねている人にターゲットを

しぼって、効率よく訴え掛けていくことが重要だ。

池田香代子氏（翻訳家）は、今福島の人々の怒りが、東電・政府だけでなく、無理解な県外の人々にも向けられていると切り出された後、言葉が軽く浅く乱れて使われていることについて話された。権力者が言葉をいい加減にあつかっている。戦闘を紛争と言い換え、もっとも大事な現地の日報が廃棄されているとうそぶいたり、また福島原発がコントロールされていると公言している。ドイツやイタリアとは地位協定の名実が全く異なっていて、米の言いなりで日本政府は思考停止に陥っている。メディアの腐敗も著しいが、だからこそ、勇気ある報道をしたメディアを励ましたり、注文をつけたりすることは大事である。

小森陽一氏（九条の会・事務局長）は、新潟方式を東京で出来るかにかかっている

る。今、東京では野党共闘に向けて各地で運動が進められているが、九条の会の人々が如何に運動をするかにかかっているとまとめられました。

憲法施行日(5月3日)統一行動に5万5千人

「施行70年 いいね！日本国憲法—平和といのちと人権を—」をスローガンとした大集会が、有明の臨海防災公園で開かれ、昨年を上回る5万5千人が会場を埋め尽くしました。

2015年に横浜で初めて開かれたこの統一集会は今年で3度目になります。集会では、池内了氏、落合恵子氏ら8氏がリレートーク、山城博治沖縄県民会議議長ら2氏から



アピール表明がありました。また野党からは、民進党（蓮舫代表）、共産党（志位委員長）、自由党（森参院議員）、社民党（吉田党首）、沖縄の風（伊波参院議員）から挨拶がありました。

特別ゲストとして韓国から招かれた李泰鎬（イ・テホ）さんは、パク・ウネ退陣緊急行動は、北朝鮮の脅威からではなく、韓国政府への絶望の中から生まれた。「闇は光に勝てない」、「嘘は真実に勝てない」を合言葉に、「キャンドル革命」と呼ばれた大運動で百万人規模のデモンストレーションを連日続け、朴政権を退陣に追い込んだ経験を紹介しながら、国は違っても日本の「主権者」の運動を応援していると呼びかけました。



この3月まで公務執行妨害等の容疑で5ヶ月もの長期間拘留された山城議長は、「これから裁判が始まるが、辺野古の現場と連帯して頑張っていきたい」と、口を開きました。「憲法番外地」と呼ばれる沖縄県で、やりたい放題の安倍政権の暴走は、何としても止めなければならない。日本政府は辺野古沖の埋め立て強行に着手したが、県民は落胆してはいない。市長・知事の同意がなければできないことがまだ多くある。来年（2018）の、名護市長、沖縄県知事選挙で勝つことで、県民の意思をあらためて示すとし、共謀罪葬れ！、野党共闘・国民戦

線の運動は、安倍自公政権の暴走に歯止めをかける力を持っている、ともに頑張りましょうと、力強い歌をまじえ、訴えました。

集会参加者からは、「昨年より多く集まった」、「思ったよりも若い人の参加が多い」、「トーク、スピーチどれもわかりやすかった」などの声が聞かれました。

翌日、事務局に「まつざわ」から通信が寄せられました。『様々なジャンルの個人によるスピーチは、豊かな広がりを感じさせ、あらためて日本国憲法の素晴らしさを再認識できた集会となりました。それにしても大手マスコミ、新聞報道の酷さにはあきれざるばかりです。例として朝日4日の朝刊では本集会記事は最後の紙面に、10×10cm 集会写真と記事はほんの数行の扱い。1面トップは《首相「9条に自衛隊明記」改憲・2020年施行に意欲》と大見出し、2面全面：《改憲 踏み込む首相》・安倍首相のメッセージ全文。内容は朝日らしい改憲への慎重なスタンスは感じられるものの、両論併記すら放棄したのかな〜と。私たち一人ひとりが【だまされないための学習】の意義と【声を届ける・広げる活動】の大切さを確認し合いたいと思います。』

学習会と宣伝行動ー九条の会まつざわ

3月25日、金子勝さんをお招きして共謀罪についての学習会を開きました。安倍



内閣が喧伝している共謀罪はテロを防止するためという目的がまったくの偽りで、その狙いは、「準備行為」にいたる手前の「合意」を捜査し、処罰できるようにするものです。このため、警察や検察などの捜査機関は、日常的に市民の「個人の内心状態」を監視できるようになります。

監視、盗聴、盗撮などの人権侵害の手法が捜査手段として正当化され、おとり捜査や密告の利用、自白や自首による司法取引などによる冤罪の可能性も高まる、違憲立法そのものです。

九条の会まつざわでは、毎月19日行動を続けています。4月19日も夕刻、下高井戸西口周辺で、この学習会を受けて、共謀罪反対のスタンディング行動を1時間行いました。共謀罪NO!の会報も同時に配布しました。

[参加者ノリ君の感想]

- ひとりでもできる **STANDING** ってやはり勇気がいるなあ～。。。でも回を重ねるうちにちょっとは慣れてきました。
- 最初のころは、全く、ほとんど無視される通行人の冷たい反応に意気消沈ぎみでした。でも昨日の行動では、「共謀罪 NO」プラカードと一緒に会報も配布しました。結構踏切り待ちの人たちが受け取ってくれました。めずらしく小一時間で 20 枚程度は受け取ってもらいました。
- 相変わらず若者の無関心ぶりには、ほとんど「どうしたもんじゃろの～」と考えさせられます。
- Sさんは署名集めもしましたが、まあまあの反応だったようです。
- いつも参加する O1さんは、積極的に声かけ、会報配布をしていました。
- 同じく常連の O2さん、前はじめてご一緒し、**STANDING** しながらいろいろお話しをすることができ、「こういう **STANDING** 行動もありで、たのしかったな～」。

第 43 回憲法 9 条のつどいー弦巻・新町九条の会

弦巻・新町九条の会は、4月22日（土）に、国連での核兵器禁止条約運動の推進を呼びかける学習会を持ちました。およそ10ヶ月ぶりのつどいには21名が参加。世田谷同友会の木村徳子さんが、被爆体験と、国連で進む核兵器禁止条約を推進するヒバクシャ国際署名活動によせる思いをおよそ1時間話されました。長崎で被爆された木村さんは、原爆投下直後の惨状だけでなく、とくに被団協が創立される1956年までの被爆者の不安や苦悩について静かに語られました。こうした苦しみを二度と他の人、次世代の人に味あわせてはならない、その思いで、国内、また全世界に向けて核兵器廃絶を訴えて来たと言います。NPTに際しての原爆展示会で、大戦中の日本のアジアでの加害者としての側面を問われたことがあったそうです。木村さんは、日本の侵略行為を認めた上で、だからといって、それで原爆で受けた被害者の苦しみを“チャラ”にすることはできない。ヒバクシャの核兵器廃絶への思いは、憎しみからのものではないんだと答えられたと言います。



お話しの後、質問に答えるかたちで、木村さんは、「核抑止力」についても触れられました。「核を持っていれば安心」というのは大間違い。どちらかが使えば、

うらみつらみは連鎖して、結局双方でたくさんの方が犠牲になる。「持たない」ことは、相手を「傷つけない」との意思表示の証で、それこそが悲惨な戦争の「抑止」になると言われたことが印象に残りました。

最後に、『「ノーモア・ヒバクシャ」と憲法9条』と題した、ジャーナリストで被爆者の吉田一人さんの講演録（2007.9.8付）が、世話役のお一人の橋本博さんから紹介されました。

反転攻勢のとき

三栖義隆

「核兵器禁止の国際条約」この重要な案件を審議する国連の場に、折り鶴が置かれた空席、それは日本の代表の席であった。

この映像を目のあたりにして、「虚しく」「悲しく」そして何より腹の底からの怒りが湧く想いをしたのは私だけではないだろう。

唯一の被爆国の政府が、核兵器廃絶を希う被爆者や、圧倒的国民の声、そして世界の世論を無視—のこうした態度は許しがたい。



今世田谷では、区長、そして多くの有識者、原水協、原水禁、ナショナルセンターの枠を超えた労働組合の結集によって、被爆者団体の提唱する「核兵器の廃絶を求

める国際署名」の運動が進められて居り、また 2020 年までに核兵器廃絶をめざす「平和首長会議」には21の区長を含む80%を超える都下の首長が賛同しているが、安倍自公政権のこうした態度は将に国民世論に敵対するものである。

憲法をめぐっても同様の事態がある。憲法9条は「天守閣」、とする意見を聞いたことがあるが、福祉（25条）地方自治（92条）労働（27条他）等々あらゆる分野に亘って憲法の内実が侵され、「秘密保護法」「共謀罪」などで国民の思想信条の自由すら奪われようとしている。すでに外堀・内堀が埋められ、立憲主義を無視した「戦争法」は、本丸どころかまさしく天守閣にすら迫る攻撃である。

憲法「改正」問題をめぐって野党の中にも9条は守らなくては・・・と言いつつ、他の課題での審議に賛成する議論もあるが、外堀、内堀は仕方が無いが、天守閣だけは、とする様では、それ自体が崩壊することは目に見えている。

今あらためて憲法の完全実施の闘いを全ての分野で広げ、同時に改憲を企む安倍政権そのものにメスを入れる大きな取り組みが必要なときである。総選挙でもこうした視点に立って野党の大きな共同とたたかいが求められている。

世田谷・九条の会は、革新懇とともにこうした共同の母体となってほしいし、そ

れが 9 条を守る最も有効な手段と信じるからである。9 条守れの大きな世論が、9 条守る政府をつくろうの世論となる事を心から願って。

(非核政府の会東京事務局長、岡本)

昭和二十年八月

土屋光男

私の八十八年の人生で、昭和二十年は最もここに深く残っている年である。戦場体験はないが、戦争を肌身で知っている最後の世代だと思っている。その年、私は十六歳で旧制中学校の四年生であったが、母の実家である広島県福山市に疎開していた。勤労働員先の福山市内の三菱電機工場で、爆弾投下器の部品を作っていた。



八月六日は晴天であった。昼前に作業場の職長さんが、「広島市内は、火薬庫に爆弾が落とされて大変なようだ」と言うのを聞いた。そして昼食後には「どうやら新型爆弾によって多くの死傷者が出ているらしく、

福山の医師会は医師と看護師の一団を送るそうだ」と話していた。それが原子爆弾だとはまだ分かっていなかった。

ところがその翌々日の八日の午後九時すぎに、福山の夜空に空襲警報のサイレンが鳴った。サイレンは毎夜の如くであったが、その夜は違った。B29 の爆音とともに、青い大きな閃光が煌めいた。一瞬、広島市に投下された新型爆弾かと思い、もう駄目だと観念した。しかしそれは照明弾であった。

それからザーという音とともに焼夷弾が落ちて来た。たちまち火の手が各所から上がった。火の勢が強くなると小さな防空壕はかえって危険なので、近所の人と一緒にすぐ裏手の広い水田へと逃げた。あぜ道にうずくまっていた私は顔をあげて思わず「あっ」と叫んだ。直線にすると一キロメートルほど彼方の国宝福山城の五層の天守閣の窓から火炎が噴き出してしていたのだ。猛火の中で崩れ落ちる寸前の天守閣の「凄絶」な光景が今でも忘れられない。道路と畑に囲まれた祖父の家は奇跡的に焼け残ったが、私たちが住んでいた家は焼けてしまった。

それから一週間後の八月十五日に、焼け残った一軒の雑貨屋の前で天皇のラジオ放送を聞いた。「戦争が終わった。日本は負けたのか。やっぱり負けたんだ」ギラギラと照りつける陽の光の中をのろのろ歩きながら私は呟いた。

でも不思議と「戦争に負けて悔しい」という思いが湧いてこなかったのをはっきりと覚えている。

(代沢)

代田・九条の会ニュースが 100 号に

今回は、この 3 月にニュース通算 100 号を発行した代田・九条の会で広報を担当されている伊東さんにインタビューさせていただきました。

—100 号達成、おめでとうございます。

伊東 2008 年 11 月に代田・九条の会が発足して、以来 8 年と 5 ヶ月、毎月発行してきました。会が結成されたときに、「定期的にニュースを出すといいですね」と提案したところ、「毎月出しましょう、お願いしますね」と言われてそのまま今に至っています。最初の 1 年ほどはいろいろと心配でした。その後は原稿の集まり、ニュースの配布など皆さんの協力で軌道に乗ったと思います。会ののぼりは、ニュースのロゴをそのまま使い、高岡さんのお世話で作られたものです。

—ひと月も休まずに、ですか！それはすごいですね。今はどのくらい配布しているんですか？

伊東 200 部ほど印刷して、ほとんどが手渡しですが、150 部ほど配っています。近隣の 9 条の会にもお届けしています。印刷版は白黒ですが、2011 年 10 月頃にホームページを作ってから、そちらにはカラー版が載っています。最近ホームページを新しくしたので、バックナンバーも読めるようになりました。



—前に代田の代表をされている野間口さんに世田谷・九条の会で紹介をいただいたことがあります (No.42)。これだけ継続できるというのは、何か秘訣があるのでは、と思いますが？

伊東 毎月事務局の会議を 7-8 人で開いていて、先 1 ヶ月の行事や行動予定を確認して、ニュース配布の分担を決めます。そのときに行事に参加する人に原稿を依頼します。それで 1 ヶ

月前に次号の内容が決まることになります。発行日の 1 週間ほど前に原稿をいただいて、あとは私と小澤さんで内容と割り付けをチェックすることになっています。このペースが定着していることが大きいのではないのでしょうか。

—代田・九条の会は、1 年を通じて定期的な行事を予定していると聞いていますが、そのような行事の開催は原稿集めにもプラスになっているのでしょうか？

伊東 代田では1月新年会、5月憲法記念のつどい、8月戦争を語る会、11月周年のつどいを開いています。このときに新しく参加される方がいますし、いただいたアンケートは、ニュースに掲載することにしています。新年会のお知らせは往復はがきにして、一言メッセージをいただいています。今年5月のつどいは5月14日(日)に東演パラータで琉球新報の記者をお招きして話を伺う予定です。

—ニュースの発行では財政の問題がついてまわると思うのですが。

伊東 行事も大体赤字です。定期的に寄金してくださる方がいることと、九条リンゴの売り上げが若干ありますが、やはり皆さんからのカンパが頼りですね。

—あるとしたら今後の検討事項はどのようなことでしょうか？

伊東 読みやすいようにフォントを大きくしたのですが、それでも字ばかりで読みづらいという厳しい指摘があって、まだまだ工夫が必要かな、と思っています。

—お忙しいところありがとうございました。

暗黒社会の復活を許さないために共謀罪法案の廃案を

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
世田谷支部事務局長 菅野 亨一

4月6日安全なオリンピックを迎えるために、国際越境組織犯罪防止条約を批准するためと国民を欺き、共謀罪法案の国会審議が強行されました。戦争する国づくりに不可欠な言論の封殺と批判をゆるさない監視社会を実現しようとしています。衆議院では30時間の審議でゴールデンウィーク前には採決を目指すとして、強行突破を狙っています。だいた国民の中で本質が理解され始めていますが、オリンピックのため、条約締結のためというごまかしが広がり、思想信条の自由を脅かすことまではないだろうという理解が残っています。国民がことの本質を理解したら、これまで3回廃案となった共謀罪は、名前を変え国民をごまかそうとしても、四度廃案に持ち込むことはできます。

1925年に立法化され、戦争体制を推進するために、一切の戦争を進めることに批判的言動が封殺された治安維持法からいまこそ学ぶことが求められています。

治安維持法は国体の変革と私有財産制度を否認することを目的として結社を組織することを10年の懲役としました。「国体の変革とはどんなことか。私有財産制度の否定とはどんなことか」が明確に規定されないものでした。1926年治安維持法の最初の執行が京都学連事件です。罪名は私有財産制度の否認を目的とする協議罪です。社会科学研究会の活動に参加することが犯罪として逮捕拘禁されたのです。



1928年には目的遂行罪が追加され、最高罪が死刑罪となり、国体の変革または私有財産制度を否認する目的をもって行われたと判断される全てが犯罪とされました。三木清が特高に追われた友人を一晩泊めたことが「目的遂行のためにする行為」として検挙投獄され、獄死を強いられました

治安維持法によって3・15弾圧事件で1600人の共産黨員と支持者、4・16弾圧事件で4942人が逮捕投獄され、小林多喜二のように拷問によって虐殺されたものが95名に及びました。共謀・思想の犯罪事実を裏付けるために、拷問、陵辱が取り調べでは常態化していきました。



1941年には予報拘禁法が追加され、犯罪を犯す可能性があると判断されれば、拘禁拘束されることになりました。一切の批判的言動も許されない戦争遂行体制が完成し、太平洋戦争が始まったわけでありませぬ。

治安維持法の成立時も盛んに、「一般市民は関係がない」から心配はいらないと吹聴されました。しかし、次々に法律が追加され、一切の言論・思想。表現の自由が奪われていったのが歴史の教訓であります。

オリンピックを利用して、テロ対策の名のもと戦争遂行体制をつくりあげる共謀罪をなんとしても廃案にしようではありませんか。

当面の行動予定

- 5月13日～14日(土～日) 共謀罪はいらない！全国街宣行動
- 5月16日(火) 日比谷野音集会&銀座デモ(18:30～)
- 5月19日(金) 共謀罪廃案！安倍内閣は退陣せよ、国会正門前行動(18:30～)
- 5月31日(水) 共謀罪廃案！安倍内閣は退陣せよ、日比谷野音集会&銀座デモ(18:30～)
- 6月2日(金) 17:30開場 日本国憲法施行70年「九条の会」講演会～九条の会呼びかけ人と世話人によるリレートーク～ 会場：杉並公会堂・大ホール 参加費：前売券1300円 当日券1500円 学生500円 賛助出演：日本フィル交響楽団楽友による弦楽四重奏団 事前申し込み制（申し込み先：九条の会 TEL03-3221-5075 FAX03-3221-5076）参加費の入金を確認後に前売券送付。
- 6月10日(土) 辺野古新基地建設と共謀罪新設を許さない！国会包囲行動。14:00～15:30。

事務局から

○ 先月末お願いした世田谷・九条の会への「寄金」の呼びかけに、早速多くの方から募金をお寄せいただきました。おかげさまで当面の危機的状況を脱することができました。誠にありがとうございます。世田谷・九条の会事務局としては、寄せられた貴重な寄金をもとに、平和憲法をまもり、活かすための活動をいっそう強めてまいりたいと考えております。これからも引き続き、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。なお住所変更などがありましたら、できるだけ早くご連絡いただければ幸いです。

○ 共謀罪、沖縄辺野古新基地建設反対とともに、国連の場では、核兵器禁止条約の締結が平和を願う全世界の人々の主要な課題のひとつなっています。今、日本では、これに向けてヒバクシャ国際署名が取り組まれています。事務所に用紙が用意されていますので、ご連絡いただければお送りします。

○ 世田谷・九条の会ニュースへの投稿を歓迎します。各地での催し、行動のほか、個人的に呼びかけたいこと、伝えたいことがありましたら、1000字程度をめどに作成し、事務局宛てお送りください。次号は8～9月に発行する予定です。